

会員研究発表リストー2008年4月～2009年3月ー

安藤直紀 准教授

- (論文) 「制度が海外子会社経営に及ぼす影響」長崎県立大学経済学部学術研究会『長崎県立大学論集』第42巻第1号, 2008年6月.
- (論文) “The willingness to dissolve IJV: Its sources and outcomes”, *Academy of International Business, Proceedings of the 50th Annual Meeting of the Academy of International Business*, 2008年6月.
- (論文) “The supervisor’s fairness and its impact on the employee’s role definition”, *Association of Japanese Business Studies, Proceedings of the 21th Annual Conference of the Association of Japanese Business Studies*, 2008年6月.
- (論文) “Influence of competitive strategies and host country factors on staffing policies of Japanese MNCs”, *Academy of Management, 2008 Annual Meeting Proceedings*, 2008年8月.
- (論文) “Antecedents of interorganizational trust: Joint decision-making, cultural adaptation, and bargaining power”, *Journal of Asia Business Studies*, 印刷中.
- (論文) 「国際戦略的提携における信頼関係形成要因」長崎県立大学『東アジア評論』印刷中.
- (論文) 「企業間の信頼関係形成」華僑大学『第十六届中日经济研讨会论文集』印刷中.

池田宏一郎 教授

- (論文, 共著) “On random Kripke frames”, 京都大学『数理解析研究所講究録』1602, 2008年6月.
- (論文, 共著) “On generic Kripke structures”, 京都大学『数理解析研究所講究録』1602, 2008年6月.
- (論文) “A note on independence in generic structures”, 京都大学『数理解析研究所講究録』1602, 2008年6月.
- (発表) “A note on saturated generic structures”, *Model Theory Summer Meeting 2008*, 2008年8月.
- (招待講演) “On saturated generic structures”, *The 10th Asian Logic Conference*, 2008年9月.
- (発表) “On generic structures under subgraphs and free amalgamation”, *RIMS 研究集会「モデル理論とその代数への応用」* 2008年11月.
- (発表) 「可算言語におけるジェネリック構造」鹿兒島モデル理論研究集会, 2009年2月.

石原紀子 准教授

- (査読論文) “Transforming community norms: Potentials of L2 speakers’ pragmatic resistance”, *Temple University Japan, Temple University Japan Applied Linguistics Colloquium Proceedings*, pp.1-10, 2008年12月.
- (その他) “Web watch: Dancing with Words: Strategies for Learning Pragmatics in Spanish”, *Japan Association for Language Teaching Pragmatics Special Interest Group, Pragmatic Matters*, 9 (1) (p.3 in English), (p.3 in Japanese, translated by Ishihara), 2008年4月.
- (その他) “Dissertation awardee spotlight: Letter from Noriko Ishihara”, *American Educational Research Association, Second Language Research Special Interest Group Newsletter*, 7 (p.5), 2008年3月.
- (学会発表) “Ishihara, N., Aoshima, S., & Akikawa, K. *Assessing pragmatic competence: A study of authentic assessment for foreign language pragmatics*”, *Annual Conference of American Association for Applied Linguistics*, Washington DC, 2008年4月.
- (学会発表) “*Incorporating instructional pragmatics into teacher education*”, *42nd Annual TESOL Convention*, New York, 2008年4月.

(学会発表) “Aoshima, S., Ishihara, N., & Akikawa, K. *Pragmatics-focused instruction and assessment* 語用論的意識と運用能力を高める授業活動とその評価”, Annual Conference of Association of Japanese Teachers, Atlanta, GA, 2008年4月.

(学会発表) “*The pragmatics of identity negotiation: What is the relevance of native-speaker norms for L2 use?*”, Annual conference of the Second Language Research Forum, University of Hawai'i at Manoa, HI, 2008年10月.

(学会発表) “*Assessment of EFL learners' pragmatic development by the teacher, for the teacher*”, Annual Conference of American Association for Applied Linguistics, Denver, CO, 2009年3月.

(学会発表) “*Critical pragmatics and intercultural communication: Subjectivity in pragmatics and intercultural communication* [paper presented at the Intercultural Communication Academic Session]”, 43rd Annual TESOL Convention, Denver, CO, 2009年3月.

(学会発表) “*Use of narratives in pragmatics-focused teacher education* [paper presented in the teacher education colloquium]”, 43rd Annual TESOL Convention, Denver, CO, 2009年3月.

(学会発表) “Cohen, A. D., & Ishihara, N. *New insights into teaching pragmatics in the ESL/EFL classroom*”, 43rd Annual TESOL Convention, Denver, CO, 2009年3月.

宇田川 勝 教授

(論文) 「明治期財閥形成者の起業家精神」書籍工房早山, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター／洞口治夫編『大学教育のイノベーター』2008年4月.

(著書) 『春光グループの歴史コラム』春光懇話会事務局, 2009年2月.

(論文) 「日米自動車産業の国際競争力」有斐閣, 湯沢威／鈴木恒夫／橘川武郎／佐々木聡 編『国際競争力の経営史』2009年3月.

遠田 雄志 教授

(学会発表) 「組織化の進化モデル vs 組織の適応モデル」2009年度組織学会年次大会, 名古屋大学, 2008年10月18日.

(論文) 「組織を変えるコミュニケーション」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 学術雑誌『イノベーション・マネジメント』No.6, 2009年3月.

大下 勇二 教授

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和 (15)」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第1号, 2008年4月.

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和 (16)」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第2号, 2008年7月.

(論文) 「フランス連結会計基準の国際的調和 (17)」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第4号, 2009年1月.

(論文) 「フランスにおける労働者経営参加型の企業管理構造の展開－取締役会の監督機能の強化と従業員の経営参加を中心として－」産業経理協会『産業経理』第68巻第4号, 2009年1月.

大塚 裕史 教授

(学会記録) 「『日本の管理会計の連続性と非連続性』日本会計研究学会第67回大会統一論題報告」第一法規株式会社『会計・監査ジャーナル』第20巻第12号, 2008年12月.

(講演) 「元気な中小企業の管理会計」三郷りそな会主催, 三郷市文化会館, 2009年1月.

小川 孔 輔 教授

- (インタビュー記事) 「エキナカは日常生活に溶け込み普通の風景になっていくでしょう。」(株)JR 東日本企画『EKIS』Vol.7・spring 2008, 2008年4月.
- (新聞記事, 共著)「消費者分析 限定品販売 女性を狙え」日本経済新聞社『日経 MJ』2008年4月23日, 2008年4月.
- (論文, 共著) 「東アジア地区に進出した多国籍企業のマーケティング:(1) コンビニエンス・ストア in East Asia」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第2号, 2008年7月.
- (編集雑誌) 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『ブランディングケースブック』2008年8月.
- (論文, 共著) 「テレビ番組のプログラム価値マップ(上)」日経広告研究所『日経広告研究所報』240号, 2008年8月.
- (論文, 共著) 「テレビ番組のプログラム価値マップ(下)」日経広告研究所『日経広告研究所報』241号, 2008年10月.
- (論文) 「マネジリアル・マーケティングの台頭と広告」吉田秀雄記念事業財団『AD・STUDIES』通巻25号, 2008年8月.
- (論文, 共著) 「なぜ、スタジアムに行ってしまうのか? 観戦型サービスにおける参加意図形成と顧客経験」日本マーケティング協会『季刊マーケティングジャーナル』110号, 2008年9月.
- (論文, 共著) 「野菜と環境に関する調査」誠文堂新光社『農耕と園芸』2008年10月号, 2008年10月.
- (講演記事) 「『認証システム』を用いた産業構造改革への挑戦」サービス産業生産性協議会『サービス産業生産性協議会会報』5号, 2008年10月.
- (新聞記事) 「日本版顧客満足度指数の構築を」社会経済生産性本部『生産性新聞』2008年12月5日, 2008年12月.
- (講演記事) 「競争優位を実現する小売業の経営革新の源泉」ダイヤモンド・フリードマン社『Chain Store Age』通巻927号, 2008年12月.
- (論文, 共著) 「広告表示等に対する消費行動の分析」公正取引協会『公正取引』701号, 2009年3月.

川喜多 喬 教授

- (著書, 編著) 『優れた人材のキャリア形成とその支援』ナカニシヤ出版, 2008年4月.
- (著書) 『中小製造業の経営行動と人的資源: 事業展開を支える優れた人材群像』同友館, 2008年6月.
- (著書, 共著) 『人材育成キーワード99: 常識編』泉文堂, 2008年11月.
- (その他) 「キャリア支援を重視した人材育成へ社内資源の再投資を」労務行政研究所『労政時報別冊 これからの人材育成研究』2008年4月.
- (その他) 「知恵を集め人財を育てる仕組みづくり」中央職業能力開発協会『能力開発21』第29巻6号, 2008年6月.
- (その他) 「中小企業でも人材の確保・定着・育成対策はできる!」愛知県経営者協会『愛知経協』700号, 2008年7月.
- (その他) 「新入社員から『協同学習集団』づくりを徹底」中央職業能力開発協会『能力開発21』第29巻7号, 2008年8月.
- (その他) 「懐疑派の意見—常識の人事部論に戻れ」労務行政研究所『労政時報』3728号, 2008年7月.
- (その他) 「育成はコミュニケーションから」中央職業能力開発協会『能力開発21』第30巻1号, 2009年1月.
- (その他) 「キャリア支援と人材開発(1): 『マイ・フェア・レディ』からの教訓」労働新聞社『労働

新聞』2712号, 2009年1月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (2): 『人的資源管理論ブーム』からの教訓」労働新聞社『労働新聞』2713号, 2009年1月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (3): 『短期成果主義』からの脱却」労働新聞社『労働新聞』2714号, 2009年1月.

(その他) 「中小企業の人材育成のポイント: 努力と工夫で「人材育成力」を高めてライバル企業に差をつける!」東京海上日動『WINプラザ』8号, 2009年2月.

(その他) 「ドライバー確保にビジョンと工夫を」輸送経済新聞社『流通設計21』第40巻2号, 2009年2月.

(その他) 「『見えない部分』を重視した自律的キャリア形成研修」中央職業能力開発協会『能力開発21』第30巻2号, 2009年2月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (4): キャリアデザイン固定化の危険」労働新聞社『労働新聞』2715号, 2009年2月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (5): 渋沢栄一の言葉からの教訓」労働新聞社『労働新聞』2716号, 2009年2月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (6): 基本は中庸の徳」労働新聞社『労働新聞』2717号, 2009年2月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (7): キャリアカウンセリングの重要性」労働新聞社『労働新聞』2718号, 2009年2月.

(その他) 「ショールーム工場の「手作り」でものづくり技能を育てる」中央職業能力開発協会『能力開発21』第30巻3号, 2009年3月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (8): キャリアモデル追従の大切さ」労働新聞社『労働新聞』2719号, 2009年3月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (9): 必要な『管理職の復権』」労働新聞社『労働新聞』2720号, 2009年3月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (10): 『社内塾』の効用」労働新聞社『労働新聞』2721号, 2009年3月.

(その他) 「キャリア支援と人材開発 (11): 『堅実な中間層』への対応」労働新聞社『労働新聞』2722号, 2009年3月.

(その他) 「ミドル・シニアのキャリアデザイン」新島学園短期大学『団塊世代のキャリアデザイン支援講座: キャリア論を踏まえた自分史作成』2009年3月.

菊 谷 正 人 教授

(論文) 「資産除去債務の会計処理法に関する比較分析」財務会計研究学会『財務会計研究』第2号, 2008年3月.

(論文) 「有形固定資産の認識・測定の問題」国際研究学会『国際会計研究学会年報 (2007年度)』2008年3月.

(著書) 『税制革命』税務経理協会, 2008年4月.

(共著) 『法人税要説 (新版)』同文館出版, 2008年4月.

(著書) 『「企業会計基準」の解明』税務経理協会, 2008年6月.

(共著) 『新会計基準の読み方 (第4版)』税務経理協会, 2008年7月.

(論文) 『「資産除去債務に関する会計基準」の問題点－資産除去債務会計の国際比較－』法政大学経営学会『経営志林』第45巻第2号, 2008年7月.

- (論文) 「会計の変容と租税法」 財経詳報社, 本庄資編著『関係法領域の変容と租税法の対応』2008年9月.
- (編著) 『財務会計学通論』 税務経理協会, 2009年2月.
- (講評) 「溝上達也『キャッシュ・フロー計算書における新たな課題—Lee 学説を抛り所として—』」 財務会計研究学会『財務会計研究』第3号, 2009年3月.

木村 純子 准教授

- (論文) 「菓鴨信用金庫」 慶應義塾大学ビジネス・スクール『ケース』90-08-7086, 2008年9月.
- (論文) 「株式会社クオカプランニング」 慶應義塾大学ビジネス・スクール『ケース』90-08-15302, 2008年9月.
- (論文) 「株式会社大地を守る会」 慶應義塾大学ビジネス・スクール『ケース』90-08-15303, 2008年9月.
- (論文, 共著) “Skin Lightening and Beauty in Four Asian Cultures”, Association for Consumer Research, *Advances in Consumer Research*, Volume 35, eds. Angela Y. Lee and Dilip Soman, Duluth, MN: Association for Consumer Research, pp.444-449, 2008年.
- (ビデオ, 共著) “Luxury Value Pyramid: What are the Dimensions of Luxury?”, Association for Consumer Research, *Advances in Consumer Research*, Volume 35, eds. Angela Y. Lee and Dilip Soman, Duluth, MN: Association for Consumer Research, p.879, 2008年.
- (学会発表, 共同研究) “Christmas as Global Consumption Ritual?: A Comparison of Japan and China”, Consumer Culture Theory 7th Annual Conference, 2008年6月.
- (学会発表, 共同研究) “Binomial Structure in Luxury: Analyzing Overseas Trip Experiences of Japanese Well-to-dos”, Association for Consumer Research Annual Conference, 2008年10月.

倉田 俊彦 教授

- (論文) 「完備半順序集合の層に関する双極限の構成」 京都大学数理解析研究所『京都大学数理解析研究所講究録』掲載予定.
- (学会発表) “Lambda-algebras by inverse limit construction on sheaves of dcpos”, 京都大学数理解析研究所, RIMS 共同研究: 証明論と論理・計算の構造, 2008年9月.
- (学会発表) “A fixed point construction for continuous functions on sheaves of dcpos”, 東京工業大学, 日本数学会秋季総合分科会, 2008年9月.
- (学会発表) “Sheaf semantics and higher-order sequentiality”, 東京大学大学院数理解析科学研究所, 日本数学会年会 (分科会特別講演), 2009年3月.
- (セミナー報告) “On continuity and sequentiality of λ -calculus”, 草津セミナーハウス, 2009年3月.

児玉 靖司 教授

- (論文) 「オープンソース教育システム Sakai の動向とその国際化およびスケーラブルな実装の試み, Current Status of Open Source Course Management System —Sakai and Trial for its Internationalization and Scalable Adaptation」 『日本 e-Learning 学会 学会誌』 Vol.8, pp.23-32, 2008年5月.
- (口頭発表) “Internationalization of the Sakai System (Traditional Chinese and Vietnamese)”, Technology Demonstration, the 9th Sakai Conference, Paris, July 2008.
- (口頭発表) “CARS (The class attendance recording system) Technology demonstration”, the 9th Sakai Conference, Paris, July 2008.
- (口頭発表) 「3D 仮想空間を活用した新たな e-Learning 教育に関する研究」, Study on development of

newe style of e-Learning utilizing 3D virtual world, 教育システム情報学会 (熊本大学)『第33回全国大会講演論文集』 pp.6-7, 2008, 2008年9月3日.

(論文) “Second Life as a Cyber Learning Environment for Higher Education and Research Collaboration”, *Association of Pacific Rim Universities 9th Distance Learning and the Internet Conference 2008*, pp.89-93, November 2008.

(口頭発表) 「オープンソース教育システム Sakai における Tool 実装の試み」, An Implementation of Tools in Open Source Course Management System Sakai, 日本 e-Learning 学会 (JeLA) 2008年秋季学術講演会, 京都情報大学院大学, 2008年11月22日.

(口頭発表) 「出席管理システムの開発状況」法政大学 IT 研究センター, ラウンド・テーブル・セッション「Sakai 3.0」 2009年3月14日.

近 能 善 範 教授

(論文) “Suppliers’ performance and transactions with customers : Role of the advanced R&D collaboration between automakers and suppliers in the Japanese automotive industry”, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『法政大学イノベーション・マネジメント研究センター ワーキングペーパー』 No.58, 2008年10月.

(論文) 「カー・エレクトロニクス分野の先端技術開発協業に関するパテントマップ分析」産業学会『産業学会研究年報』第23号, pp.1-14, 2008年6月.

(報告) “Suppliers’ performance and transactions with customers : Role of the advanced R&D collaboration between automakers and suppliers in the Japanese automotive industry”, The Mitsubishi UFJ Foundation Conference, in Mishima, Japan, 2008年8月.

坂 上 学 教授

(論文) 「電子開示システムへの XBRL の導入」中央経済社, 柴健次・薄井彰・須田一幸編著『現代のディスクロージャー ー市場と経営を革新する』第17章所収, pp.342-364, 2008年11月.

(論文, 共著) 「人工知能アプローチによる「継続企業の前提」の解析ーテキストマイニングによる非会計情報の分析ー」同文館, 高田敏文編著『事業継続能力監査と倒産予測モデル』第6章所収, pp.181-215, 2008年5月.

(論文) 「オントロジーによる会計事象の把握」森山書店『会計』第174巻第4号, pp.515-528, 2008年10月.

(論文, 共著) “An Analysis of the “Going Concern Assumption”: Text Mining from Japanese Financial Reports”, American Accounting Association, *Journal of Emerging Technologies in Accounting*, Vol.5, pp.1-16, 2008年.

佐 野 嘉 秀 准教授

(論文, 共著) 「製品開発における派遣技術者の活用 ——派遣先による技能向上の機会提供と仕事意欲」労働政策研究・研修機構『日本労働研究雑誌』 No.582, 2009年1月.

(論文) 「製品開発分野における派遣技術者の仕事とキャリア」東京大学社会科学研究所『製品設計分野における技術者派遣企業のキャリア管理 (2)』東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門研究シリーズ No.13, 2008年10月.

(論文, 共著) 「非正社員の活用方針と雇用管理施策の効果」労働政策研究・研修機構『日本労働研究雑誌』 No.577, 2008年8月.

(論文) 「製品開発部門における派遣技術者の活用 ～製造企業4社の事例研究から～」東京大学社会

科学研究所『設計部門における外部人材活用の現状と課題 (2)』東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門研究シリーズ No.12, 2008年8月.

- (論文) 「非正社員の仕事とキャリア: 正社員のキャリア類型との関係」労働政策研究・研修機構『非正社員の雇用管理と人材育成に関する予備的研究』JILPT 資料シリーズ No.36, 2008年4月.
- (著書, 共著) 『人材ビジネスの現状と展望 (4)―「第4回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果―』東京大学社会科学研究所, 東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門資料シリーズ No.5, 2009年3月.
- (著書, 共著) 『人材ビジネスの現状と展望 (3)―「第3回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果―』東京大学社会科学研究所, 東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門資料シリーズ No.4, 2008年4月.
- (学会発表) 「非正社員の能力開発と正社員登用―非正社員の能力開発と正社員登用の組み合わせ―」日本労務学会, 日本労務学会第38回全国大会, 2008年8月.

高橋理香 准教授

- (論文) “Essays on Non-Tariff Barriers”, 慶應義塾大学大学院経済学研究科, 博士論文, 2008年9月.
- (論文) “Competition Policy as a Substitute for Tariff Policy”, *Emerald, Contemporary and Emerging Issues in Trade Theory and Policy (Frontiers of Economics and Globalization, Vol.4)*, Chapter 21, 2008年12月.

竹内淑恵 教授

- (査読論文, 共著) 「新製品のパッケージにおける情報処理 ―販売好調製品と不調製品の比較による差異の解明―」日本消費者行動研究学会『消費者行動研究』第14巻, No.1・2, pp.23-42, 2008年8月.
- (論文, 共著) 「サービスのロイヤルティ構造とコミュニケーション戦略―携帯電話サービスを事例として」日経広告研究所『日経広告研究所報』第42巻, 4号, pp.10-17, 2008年8月.
- (論文, 共著) 「広告表示等に対する消費者行動の分析―携帯電話の通話料金プラン選択等における購買意思決定―」公正取引委員会競争政策研究センター『CPRC Report Series』, 競争政策研究センター協同研究, CR03-08 November 2008, pp.1-49, 2008年11月.
- (論文, 共著) 「広告表示等に対する消費者行動の分析」(財)公正取引協会『公正取引～競争の法と政策～』No.701, pp.12-17, 2009年3月.
- (論文) 「携帯電話広告の表示に対する消費者反応の分析」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.6, pp.41-69, 2009年3月.
- (論文, 共著) 「金融リスク商品の選択における購買意思決定―広告誤認発生と消費者反応の分析―」(財)吉田秀雄記念事業財団, 平成20年度(第42次)助成研究論文, pp.1-107, 2009年3月.
- (著書, 共著) 「広告コミュニケーション効果の測定―広告想起と店頭配荷の販売への影響―」朝倉書店『マーケティング・経営戦略の数理』pp.87-103, 2009年3月.
- (学会発表) 「広告への誤認による広告効果に対する差異」日本マーケティング・サイエンス学会, 第83回研究大会, 2008年6月22日.
- (学会発表, 共同) 「パッケージ・コミュニケーション測定尺度の開発」日本マーケティング・サイエンス学会, 第83回研究大会, 2008年6月22日.
- (学会発表, 共同) 「NB の価格プロモーションが製品カテゴリーの内的参照価格に与える影響～大衆薬のケース～」日本消費者行動研究学会, 第36回消費者行動研究コンファレンス, 2008年6月28日.

(学会発表, 共同) 「ブランド拡張のフレームを用いた地域ブランドの分析」 日本消費者行動研究学会, 第36回消費者行動研究コンファレンス, 2008年6月28日.

(学会発表, 共同) 「商品一元論に基づくサービスのロイヤルティ構造に関する研究～携帯電話サービスを事例として～」 日本消費者行動研究学会, 第36回消費者行動研究コンファレンス, 2008年6月28日.

田路 則子 教授

(論文) 「ハイテク聖地を支える起業家像」 法政大学地域研究センター『地域イノベーション』第0号, 2008年6月.

(論文) 「シリコンバレーにおけるハイテクスタートアップス成長のメカニズム」 研究技術計画学会『研究技術計画』第23巻2号, 2008年8月.

(論文, 共著) 「RAYTEX ハイテクスタートアップの成長プロセス」 東洋経済社, 『一橋ビジネスレビュー』56巻4号, 2009年3月.

(著書, 共著) 「キャリア・デザイン」 ファーストプレス, 2008年11月.

(著書) 『アーキテクチュラル・イノベーション (改訂版)』 白桃書房, 2008年10月.

(学会発表) 「シリコンバレーにおけるハイテクスタートアップの起業家像」 日本ベンチャー学会, 2008年11月.

平田 英明 准教授

(論文) 「クレジット・スコアリングと金融機関経営 —第1世代の中小企業信用リスク計測モデルを用いた検証」 社団法人 日本経済研究センター, *JCER Discussion Paper* 116, 2009年8月.

(論文) 「原油価格高騰とわが国の物価変動・景気変動」 財団法人 日本経済研究所『日経研月報』363, 2009年8月.

(論文) 「開放マクロ動学一般均衡モデル」 朝倉書店, 蓑谷他編『応用計量経済学ハンドブック』近刊.

(論文) 「為替レート関数の理論と実証」 朝倉書店, 蓑谷他編『応用計量経済学ハンドブック』近刊.

(報告書) 「米国発金融危機と日本の金融システム」 社団法人 日本経済研究センター『日本金融研究』19, 2008年10月.

(報告書) 「世界金融危機下の日本経済」 社団法人 日本経済研究センター『日本金融研究』20, 2009年2月.

(雑誌) 「中小企業向けスコアリング貸出の失敗に学ぶ」 社団法人 金融財政事情研究会『週刊 金融財政事情』2796号, 2008年7月.

(雑誌) 「検証 トランザクション型貸出—スコアへの過信は禁物」 金融ジャーナル社『月刊 金融ジャーナル』2008年9月.

(雑誌) 「三重苦で急低下する実質自己資本比率」 社団法人 金融財政事情研究会『週刊 金融財政事情』2829号, 2009年3月.

(用語集) 「トランザクション貸出」 金融ジャーナル社『2009年版 金融時事用語集』2009年1月.

福島 英史 准教授

(論文) 「政府主導技術開発プロジェクトの代替物 —電力貯蔵用電池の開発」 法政大学経営学会『経営志林』第45巻第4号, 2009年1月.

(資料) 「企業家の経験 —(株)エーワン精密の梅原勝彦取締役相談役の事例」 法政大学経営学会『経営志林』第45巻第3号, 2008年10月.

福田 淳 児 教授

(論文) 「管理会計担当者の役割および役割遂行に必要な知識・スキル」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第4号, 2009年1月.

(学会報告) 「日本会計研究学会 第67回全国大会自由論題報告」

洞 口 治 夫 教授

(査読つき論文) 「集合知と集合戦略 —イノベーション発生理論の探求—」『日本経営学会誌』第21号, 2008年4月20日, pp.15-26.

(査読つき論文) “Economics of Reciprocal Networks: Collaboration in Knowledge and Emergence of Industrial Clusters,” *Computational Economics*, 2008, vol.31, issue 4, pages 307-339.

(査読つき書評論文) 「天野倫文著『東アジアの国際分業と日本企業 —新たな企業成長への展望—』を読む —「鍵概念」としての比較優位と競争優位—」『アジア経済』第49巻第7号, 2008年7月, pp.47-61.

(編著書) 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター・洞口治夫編『大学教育のイノベーター —法政大学創業者・薩埵正邦と明治日本の産業社会—』書籍工房早山, 2008年4月10日, 全357ページ.

(編著書) 『めざせビジネス・イノベーター —MBA プロジェクトメソッド入門—』井手美由樹・石島隆との共著, 同友館, 2008年9月21日.

(共著) 『入門・経営学 —初めて学ぶ人のために—』行本勢基との共著, 同友館, 2008年10月25日.

(海外招待講演) “New Development of Alliance-driven Innovation Creation Policy: Collective Knowledge and Japanese Business-University Alliances,” *International Conference on 2008 Industrial Technology Innovation: Global Research and Open Innovation*, Taiwan Institute of Economic Research, August 21-22, 2008.

(海外招待講演) Sectional Keynote Speech, “Collective Knowledge and Collective Strategy: Quest for a Genetic Theory of Innovation”, in Section 6: Economics, Economic and Social History, “*Beyond Structural Changes: Shaping the Future of Japanese Economy and Business*”, 12th International Conference of the European Association of Japanese Studies, Salento University, Italy, September 20th, 2008, in Hotel Tiziano, Lecce, Italy.

(海外招待講演) Symposium Presentation by DVD, “Toyota Institute for Management Education and ‘Lean Thinking’”, in Konferenz “*Lean Thinking: Internationale Management Kultur*,” November 12, 2008, MobileLifeCampus, Wolfsburg, Germany.

(国際シンポジウム・セッションチェア) 国際シンポジウム「イノベーションの歴史的起点 —明治日本における西洋機械技術の導入—」(Starting Point of Innovation in Historical Perspective: Introduction of Western Mechanical Engineering to Meiji-Japan), 法政大学ボアソナード・タワー26階スカイホール, 主催・法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 2007年7月24日.

(国際ワークショップ・コーディネーター) International Workshop: International Comparison of Innovation Policy: “Cluster and the European Institute for Innovation and Technology,” The Second Meeting at Hosei University, Tokyo, Japan. 『イノベーション政策の国際比較』第2回ミーティング (法政大学), 「クラスターとEUイノベーション技術センターの設立」報告者・Dr. -Ing. René Haak (ルネ・ハーク氏) EU Policy Research Officer, German Federal Ministry of Education and Research (EU政策担当官, ドイツ連邦文部科学省), 2008年10月16日, 於・法政大学市ヶ谷キャンパス, ボワソナードタワー25階, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター・セ

ミナー室.n

- (ワーキングペーパー) Haruo H. Horaguchi, “Collective Knowledge and Collective Strategy: A Function of Symbiotic Knowledge for Business-University Alliances,” ワーキングペーパー, No.57, 2008年10月14日.
- (取材記事) 『『成功する業務改革』のポイント』『Bizteria 経営企画』, vol.13, pp.4-7. 2008年7月31日.
- (研究ノート) 「経営における知識と能力 —暗黙知の危険性と集合知に関する序論的考察—」『経営志林』第45巻第4号, 2009年1月, pp.67-78.
- (学会報告) 「知識管理論の現段階 —クラスターとイノベーションの普及—」日本ベンチャー学会イノベーション研究部会主催, 「平成21年イノベーション研究部会1月例会」, 2009年1月21日午後7時～9時, 於・早稲田大学大学院ビジネススクール・西早稲田ビル19号館414号室.
- (研究報告) 「知識管理論のフロンティア—ナレッジ・アドミニストレーターをいかに育てるか?—」特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構・経済産業省委託事業「次世代グローバル経営者育成プログラム開発プロジェクト」実証講義, 2009年1月31日, 法政大学経営大学院新二口坂校舎501号教室.
- (講演録) 「聯盟趨動型創新政策の新發展 集合知識與日本産學合作聯盟」(撰文・陳碧芬), 中華民國經濟部技術處・台湾經濟研究院, 2008年12月, pp.188-204.
- (国際フォーラム・セッションチェア) IMVP-東京大学 MMRC-法政大学自動車産業フォーラム2009『世界金融危機と世界自動車産業のパラダイムチェンジ』(MMRC-RIIM-IMVP, Automobile Industry Forum, “World Financial Crisis and the Paradigm Change of the World Automobile Industry”), 第1セッション, 法政大学ボアソナード・タワー 26階スカイホール, 主催・東京大学ものづくり経営研究センター, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, 2009年3月6日.
- (コラム連載) 「製造業派遣の問題点 —日本と中国—」『古今東西 雇用のあれこれ』第1回, MSN(マイクロソフトネットワーク)ポータルサイト, 「求人」編集記事, 2009年3月19日, <http://career.jp.msn.com/article2/column/horaguchi/001/default.htm>.

矢 作 敏 行 教授

- (著書) 『発展する中国の流通』(関根・鍾・畢氏との共著)白桃書房, 2009年3月.
- (著書) 『商品流通論』(『現代流通』有斐閣の中国語訳 第二版, 訳編・呉小丁)科学出版社(中国), 2009年2月.
- (論文) 「中国における卸売業の展開可能性—総合商社の取り組みから—」法政大学経営学会『経営志林』第45巻第3号, 2008年10月.
- (論文) 「イオンの中国シフトを提起する」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター『イノベーション・マネジメント』No.6, 2009年3月.
- (論文) “The process of international business model transfer in the Seven-Eleven group: Us-Japan-China” (with Malobi Kar), *Asia Pacific Business Review*, Routledge, Vol.15, No.1, January 2009.
- (ワーキング・ペーパー) 『良品計画の経営』(編), 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキング・ペーパー・シリーズ No.56, 2008年10月.
- (講演記録) 「アジア小売市場と日本流通企業の国際化」流通経済研究所『流通情報』No.470, 2008年8月.
- (座談会記録) 「日本小売業協会設立30周年記念座談会—流通新時代への挑戦」日本小売業協会『Retail Shop』Vol.91, 2008年10月.
- (対談記録) 「日本チェーンストア経営は世界水準に適するか」(イオンモール 鯛洋三氏と), 商業界

『販売革新』2008年4月号.

(インタビュー記録) 「提言特集・新『製配販』モデルつくれ」商業界『販売革新』2008年11月号.

(インタビュー記録) 「海外市場の先覚」商業界『イオン スタディ』2009年1月臨時増刊.